

## 西原村くらし応援商品券

物価高騰対策として、西原村様より、令和5年7月と令和6年2月の2回、西原村くらし応援商品券を頂きました。これを利用して、村内にある仕出し屋さんにお越し、豪華お弁当を入所者の皆さまに食べて頂きました。普段は食べられない豪華な鰻弁当やお寿司、焼肉弁当、天ぷら弁当などを数回に分けて食べて頂き、皆さん「大変美味しかった!」と大満足でした。西原村様には感謝申し上げます。

## 新入職員ごあいさつ



森川 嘉顕(調理員)

初めてまして、森川嘉顕と申します。調理場の新入職員として入職させていただきました。みなさんに喜んでいただけるおいしい料理を作ることが目標です。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。



## <編集後記>

遅い梅雨入りで大雨、晴れると猛暑。今年の夏も暑く(熱く?)なりそうですが、電気料金の高騰もあり、節電を強いられそうです。こまめに水分補給をするのはもちろんですが、冷感グッズを活用しながら、少しでも涼しく過ごしていきましょう。

編集責任: 二上

発行: 社会福祉法人 致知会  
救護施設 真和館

〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地  
TEL: (096) 279-1121 FAX: (096) 279-1122  
E-mail: shinwakan@utopia.ocn.ne.jp  
HP: <http://www2.ocn.ne.jp/~titikai/index.html>

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。

# 真和館だより 第33号

## 風の彩り

### 一所懸命の心



施設長 藤本知彦

ニュースを見ていて退職代行サービスなるものがあることを初めて知りました。退職時に自分で会社側へ伝えることはせずに、代行サービスを使うことがあるとのことで大変驚きました。このようなサービスが出てくるのは、最近の日本は人材の争奪戦となっており、転職が増えてきているからかと思いました。当然、福祉業界も同様であり、真和館でも職員の確保とその定着が近年の重要課題となっております。

このような話を聞き、古い人間である私の心の中に「一所懸命」という言葉が思い浮かびました。岩波書店出版の広辞苑によりますと、一所懸命とは、「①賜った一カ所の領地を生命にかけて生活の頼みとすること、②物事を命がけにすること」とあります。一説によれば、鎌倉時代の武士が、鎌倉幕府から元々所有していた土地を保障されたり、新しく土地を与えられたりした御恩に対し、鎌倉幕府に忠誠を誓い、自分の土地を命懸けて守り抜くことが語源ともいわれています。また近年では、この一所懸命が一生懸命になり、命をかけて物事に当たる、真剣に物事に打ち込むという言葉になってきました。

この一所懸命という言葉は、今の真和館にとって3つの意味を持っているのではなからうかと思われます。

1つ目は、依存症の入所様が「一所懸命」依存症の学習をしていただき、地域に戻っていただければという願いです。依存症の方が真和館に入所されますと、早速、真和館ARP(アルコール依存症回復支援プログラム)に沿った学習会等に参加して頂きます。最初から全くARPに参加されない(できない)方もいますが、大半の方は参加されます。但し、ここから人生の分かれ道となり、ARPに参加され続ける方と参加されなくなる方の2通りに分かれます。入所直ぐには「人生をやり直したいから頑張って学習する」と言われ、ARPに参加されていた方も、いつしか様々な言い訳をして参加されなくなる方もおられます。結局、入所された中のほんの一握りの方が、ARPに参加し続け、依存症から回復し、地域に戻られて行くことになります。そしてARPに参加しなくなった人達は、真和館に居ることによって断酒することはできませんが、学習しないためアルコール依存症からの回復ができません。この一所懸命に学習される方とされない方の差は何なのか良くわかりませんが、障がいの重さや理解力(脳の回復具合)の差、否認の有無ではないかと考えます。今後、この一定数おられる学習されなくなった方々に、素直になり、自分を省みるようになり、もう一度学び直そうと思うようになっていただければ、どう支援していくかが今後の課題の一つであると考えています。

2つ目は、職員全員が労を惜しまず「一所懸命」に働くようになる願いです。もちろん、ほとんどの職員は、いつも一所懸命、まじめに働いてくれています。ただ、時には手を抜いているなど思える場面に遭遇する職員もいます。そのような職員の心根を変えていくのは大変難しいことだと思いますが、私が率先して汗水たらして働くしかないと考えております。

3つ目が、人材確保の問題であり、職員の皆さまに入職いただいたあとは、この真和館で最後まで(定年まで)「一所懸命」働き続けて頂けるような施設でありたいという願いであります。当然、そのような施設になるには、働き甲斐のある、魅力のある職場にするための施策が必要です。しかしながら、この春の大手企業を中心とした大幅な賃上げにより、賃金面では福祉業界は厳しい状況にあり、それ以外の部分で差別化を図る必要があります。なかなか難しい課題ではありますが、「一所懸命」対応していきたいと思っております。

入所者統計

1) 障がい区分状況 令和6年4月1日現在

|   | 身体障がい | 知的障がい | 精神障がい  | 重複障がい           |                 |                 | 生活障がい | 合計 | (内アル<br>コール依<br>存症) |
|---|-------|-------|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-------|----|---------------------|
|   |       |       |        | 身体障がいと<br>知的障がい | 身体障がいと<br>精神障がい | 知的障がいと<br>精神障がい |       |    |                     |
| 男 | 1     | 6     | 35(12) | 0               | 1               | 5               | 3     | 39 | (26)                |
| 女 | 0     | 1     | 15(9)  | 0               | 0               | 1               | 1     | 16 | (5)                 |
| 計 | 1     | 7     | 50(21) | 0               | 1               | 6               | 4     | 55 | (31)                |

※身体(3級以上)・知的・精神障がい(3級以上)の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。  
※精神障がいの( )内は統合失調症者の数である。  
※生活障がい者とは手帳は所持していないが、地域で生活できない人(業界用語)。

2) 年齢別入所者状況

|   | 20～29 | 30～39 | 40～49 | 50～59 | 60～64 | 65～69 | 70～79 | 80～ | 合計 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| 男 | 0     | 0     | 4     | 8     | 7     | 5     | 10    | 5   | 39 |
| 女 | 0     | 0     | 2     | 3     | 0     | 3     | 5     | 3   | 16 |
| 計 | 0     | 0     | 6     | 11    | 7     | 8     | 15    | 8   | 55 |

平均年齢 男) 65歳 9ヶ月 女) 67歳 4ヶ月 全体) 66歳 3ヶ月

令和5年度 決算報告

貸借対照表  
令和6年3月31日現在

| 法人合計     |               | (円)          |               |
|----------|---------------|--------------|---------------|
| 資産の部     |               | 負債の部         |               |
| 科目       | 当年度末          | 科目           | 当年度末          |
| 流動資産     | 95,739,109    | 流動負債         | 32,592,045    |
| 固定資産     | 943,753,544   | 固定負債         | 127,242,045   |
| 土地       | 7,881,175     | 負債の部合計       | 159,834,090   |
| 建物       | 719,127,541   | 純資産の部        |               |
| その他建物    | 3,605,170     | 基本金          | 71,446,947    |
| 構築物      | 27,417,027    | 国庫補助金等特別積立金  | 403,514,955   |
| 車両運搬具    | 2,620,586     | 積立金          | 145,400,000   |
| 器具及び備品   | 14,394,180    | 人件費積立金       | 27,000,000    |
| 有形リース資産  | 1,694,000     | 施設整備積立金      | 118,400,000   |
| ソフトウェア   | 0             | 次期繰越活動収支差額   | 259,296,661   |
| 退職給付引当資産 | 21,578,045    | (うち当期活動収支差額) | 18,134,663    |
| その他      | 145,435,820   | 純資産の部合計      | 879,658,563   |
| 資産の部合計   | 1,039,492,653 | 負債及び純資産の部合計  | 1,039,492,653 |

事業活動計算書  
令和5年4月1日～令和6年3月31日

| 法人合計        |             | (円)          |             |
|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 勘定科目        | 決算          | 勘定科目         | 決算          |
| サービス活動収益計   | 349,735,194 | 事業活動収入計      | 357,414,492 |
| サービス活動費用計   | 333,607,660 | 事業活動支出計      | 318,022,410 |
| サービス活動増減差額  | 16,127,534  | 事業活動資金収支差額   | 39,392,082  |
| サービス活動外収益計  | 7,679,298   | 施設整備等収入計     | 0           |
| サービス活動外費用計  | 3,981,161   | 施設整備等支出計     | 29,146,244  |
| サービス活動外増減差額 | 3,698,137   | 施設整備等資金収支差額  | -29,146,244 |
| 経常増減差額      | 19,825,671  | その他の活動収入計    | 0           |
| 特別収益計       | 0           | その他の活動支出計    | 10,282,745  |
| 特別費用計       | 1,691,008   | その他の活動資金収支差額 | -10,282,745 |
| 特別増減差額      | -1,691,008  | 当期資金収支差額合計   | -36,907     |
| 当期活動増減差額    | 18,134,663  | 前期末支払資金残高    | 84,001,154  |
| 前期繰越活動増減差額  | 248,661,998 | 当期末支払資金残高    | 83,964,247  |
| 当期繰越活動増減差額  | 266,796,661 |              |             |
| その他の積立金取崩額  | 0           |              |             |
| その他の積立金積立額  | 7,500,000   |              |             |
| 次期繰越活動増減差額  | 259,296,661 |              |             |

資金収支計算書  
令和5年4月1日～令和6年3月31日

| 法人合計         |             | (円)          |             |
|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 勘定科目         | 決算          | 勘定科目         | 決算          |
| 事業活動収入計      | 357,414,492 | 事業活動支出計      | 318,022,410 |
| 事業活動資金収支差額   | 39,392,082  | 施設整備等収入計     | 0           |
| 施設整備等収入計     | 0           | 施設整備等支出計     | 29,146,244  |
| 施設整備等資金収支差額  | -29,146,244 | その他の活動収入計    | 0           |
| その他の活動収入計    | 0           | その他の活動支出計    | 10,282,745  |
| その他の活動資金収支差額 | -10,282,745 | その他の活動資金収支差額 | -10,282,745 |
| 当期資金収支差額合計   | -36,907     | 当期資金収支差額合計   | -36,907     |
| 前期末支払資金残高    | 84,001,154  | 前期末支払資金残高    | 84,001,154  |
| 当期末支払資金残高    | 83,964,247  | 当期末支払資金残高    | 83,964,247  |

行事・レワ

餅つき

年末恒例の「餅つき」を開きました。杵と臼を使って「エイサ!・ホイサ!」と声を掛け合いながら威勢よくつき、出来立てのお餅を、優しく丁寧に手で包み込むように作ってられました。



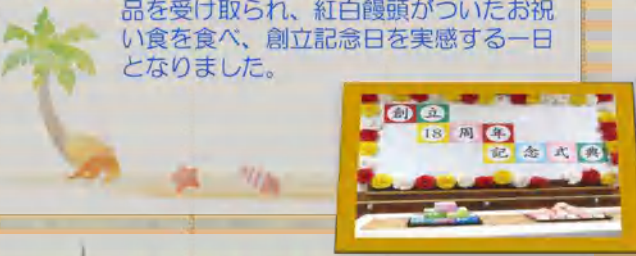
植木市

R6.2.13、くまもと春の植木市2024の見学に行ってきました。天候にも恵まれ、気持ちの良い見学日和となりました。今年は7名の方が参加され、熱心に花や植木を観賞される方や屋台の食べ物を楽しまれる方など、みなさんそれぞれ、楽しんでおられました。



創立記念式典

真和館創立18周年記念式典が開催されました。入所者さんと職員は、毎年文集を書いています。今年は、「タイムマシンがあったら」というテーマで、想像力を膨らませた過去・現在・未来が思いのままに綴られています。入所者さんは、記念品を受け取られ、紅白饅頭がついたお祝い食を食べ、創立記念日を実感する一日となりました。



スポーツ大会

スポーツ大会では、グラウンドゴルフやダーツ等の種目が準備されています。入所者の皆様には好きな競技を選んでもらえ、楽しく参加していただいています。スポーツ大会後は、皆様が何よりの楽しみにされているバーベキューがあるので、お腹いっぱいになるまで食べていただき、とても楽しい一日になっています。



なかよしまつり

毎年12月に、真和館で一番力を入れているお祭り「なかよしまつり」を行っています。入所者職員一丸となって色々な出し物を行っています。昨年度は地域の夢運太鼓さんがオープニングを飾って下さり、大変盛り上がりしました。



初詣

年が明けると、毎年希望者を募り初詣に行きます。今年も、健軍神社と阿蘇神社に参拝に行ってきました。おみくじを引いたり、お参りをしたりと、みんなで一年の無事と平安を祈願して参りました。



花見

4月1日、桜を見に、菊池公園へお出かけしました。天気も良く、久しぶりの外出に表情が和らぎ職員も一緒に楽しみました。公園には、足湯もあり温泉に入った気分を味わうことも出来ました。



還暦祝い

6月3日、今年還暦を迎えられた一名の方と阿蘇神社へ参拝し、健康祈願をして頂きました。その方は初めて阿蘇神社に参拝されたとのことでしたが、拝殿で祈願して頂いたことにとっても感動しておられました。晴天にも恵まれとても良い一日になりました。



真和館ホスピタリティ  
～精神障がいの支援の拠所～

真和館では、アルコール依存症の支援に力を入れており、令和4年度末に「真和館アルコール依存症回復支援羅針盤」が完成し、支援体系・方法の見える化ができました。しかし、真和館には、依存症以外の精神障がいの方も多くおられます(現在、真和館入所者55名のうち、54名が精神科を受診、50名が精神障害者保健福祉手帳所持)。依存症の支援に比べ、その他の精神障がいの支援(不穏な状態になられた時や問題が起こった時の対応など)は、職員個人個人の暗黙知になっており、支援方法の周知徹底が来ていません。目標としている「入所者が安心・安全に暮らせる施設」を実現するために、具体的にどうすればよいか漠然としています。そこで、令和4年度から支援方法の見える化(形式知)を目指し、QC活動で取り組んでいます。

令和4年度は、「問題行動からみる障がい・症状別」の分析を行いました。分析の結果、ある程度の方向性が見えたものの(高次脳機能障害の方はこういう問題が多い傾向がある、等)、支援方法への活用には至らなかったため、次に、問題行動を減らすにはどうしたらいいかを考えました。そこで「包括的暴力防止プログラム(CVPPP)」研修と明生病院川内先生のご講義「アルコールの内科学」で教えていただいた「脳機能が障害されると出てくる問題」を参考にして、職員皆で「どのような支援を行えばいいか」を話し合いました。それを【支援のPOINT】として「心の持ち方」「行動・言葉(対応の実践)」をまとめました(下記図参考)。

令和5年度は、【支援のPOINT】から、職員一人一人に目標を作ってもらい、実践&体験を積み重ねました。また、「自己覚知」研修を行い、認知行動療法を教えていただき、「物事の捉え方を変える」「自分を客観視する」ことを学びました。そして、2年間の活動の中で、これらは【支援の基本】ではなかろうかということに気づき、【支援の基本】として、①入所者さんを一人の人として見て、信頼関係をつくる、②自分自身を大事にする、③良い職場環境(人の話を聴く、話す)という項目に分け、まとめました。

令和6年度は、QC活動の別サークル(過去3年間の活動で「言葉遣いの改善」→「態度の改善」→「ホスピタリティ&マナー」と深化)と合体し、【支援の基本】のブラッシュアップと、各種の問題行動に対する具体的な支援方法の見える化を行っています。

【真和館ホスピタリティ～精神障がいの支援の拠所～】として完成するには、まだ月日がかかりますが、入所者さんが安心・安全に暮らせる施設となるよう、努力邁進して参ります。

# 心の持ち方

|           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| 入所者の人権を尊重 | 選択するのは入所者・本人の意思を尊重             |
|           | 入所者の尊厳を守る                      |
|           | 入所者と支援者は同じ人間                   |
|           | 本人よりの姿勢（味方になる）                 |
| 信頼関係を築く   | 入所者の良いところを見つける                 |
|           | 傾聴                             |
|           | 否定や批判をしない、最後まで聴く               |
|           | 出来ないことを受け入れる                   |
|           | 根気よく寄り添う                       |
|           | 敵じゃない、味方だよ                     |
|           | 相手をちゃんと見る                      |
|           | 入所者自身を知る                       |
|           | 飲酒欲求については職員が根気強く付き合う           |
|           | 安心・安全であることを伝え続ける               |
| 職員がお手本になる | 入所者の名前を呼ぶ                      |
|           | 適度な距離感                         |
|           | 笑顔で接する                         |
|           | 挨拶をする                          |
|           | きちんと対応する                       |
|           | 職員自身の感情をコントロールする               |
|           | 職員が謙虚であり続ける                    |
|           | なぜそのような言動になるのか、想像し、観察し、冷静に対処する |
|           | なぜそのような言動になるのか、想像し、観察し、冷静に対処する |
|           | なぜそのような言動になるのか、想像し、観察し、冷静に対処する |

|              |              |                                |
|--------------|--------------|--------------------------------|
| 行動・言葉(対応の実践) | 入所者の行動への支援   | 栄養のバランスがとれた食事、規則正しい生活、十分な睡眠、運動 |
|              |              | 学習する(アンガーマネジメント・SSTなど)         |
|              |              | 見える化(計画・スケジュール・マニュアル等)         |
|              |              | 具体的な目標作成                       |
|              | 職員の態度        | 繰り返し、訓練を行う                     |
|              |              | 一つ一つ行う                         |
|              |              | 自立を促す                          |
|              |              | 支援を継続し、職員一丸となって行う              |
|              | コミュニケーションを取る | 時間を守る                          |
|              |              | 丁寧に伝える                         |
|              | 怒っている人に対して   | ナースコールがあったら顔を出す                |
|              |              | すぐに伝える                         |
|              |              | 話を聴く・否定や批判をせず最後まで聴く            |
|              |              | 声掛けを続ける                        |
|              | コミュニケーションを取る | 叱らない・褒める                       |
|              |              | 一分間ラポール                        |
|              |              | 「ありがとう」「助かります」の声掛け             |
|              |              | 幸せを感じられる言葉を使う                  |
|              | 怒っている人に対して   | 汚い言葉を使わない                      |
|              |              | クッション言葉を使う                     |
|              |              | 自分の気持ちを前向きに伝える                 |
|              |              | ちゃんと見て、言葉で伝える                  |
|              | 怒っている人に対して   | 職員の気持ちをアイメッセージで伝える             |
|              |              | 気にかけている、気づいていることを伝える           |
|              |              | 言葉を選んで伝える                      |
|              |              | あまり話さない人と話す                    |
|              | 怒っている人に対して   | 普段の何気ない言葉のやりとりを大事にする           |
|              |              | 言葉だけではなく態度でも示す                 |
|              |              | その場・人に合わせた話し方                  |
|              |              | 明るく、はっきり、低い声、ゆっくり、大きく          |
|              | 怒っている人に対して   | 距離を置く                          |
|              |              | 怒っている理由を聞く                     |
|              |              | 時間をおいてから説明する                   |
|              |              | 場所を変えて話を聞く                     |
|              | 怒っている人に対して   | 出来ない理由を伝える                     |
|              |              |                                |
|              |              |                                |
|              |              |                                |

令和6年度 年間支援計画

|     | 指導班                                                                                                       | 生活支援班                                                                                            | 医務班                                        | 調理班                                        |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 4月  | ・対話集会<br>・創立記念式典<br>・心みがきの講演会<br>・AA健軍グループ<br>青空ミーティング<br>(アスペクタ)                                         | ・誕生者食事会<br>・春の旅行<br>・春の食事会<br>・花見学                                                               | ・健康指導                                      | ・創立記念弁当<br>・栄養指導                           |
| 5月  | ・対話集会<br>・ピアカウンセリング<br>(統合失調症)                                                                            | ・誕生者食事会<br>・ゴールデンウィーク<br>特別映画鑑賞会<br>(連休中)<br>・西原村区役<br>・春のスポーツ大会                                 | ・感染症予防勉強会<br>(食中毒)                         | ・端午の節句献立<br>・バーベキュー大会                      |
| 6月  | ・対話集会<br>・熊本県断酒友の会<br>一般公開セミナー<br>・AA九州沖縄地域<br>ラウンドアップ                                                    | ・誕生者食事会<br>・カラオケ大会<br>・地域防災訓練<br>・還暦祝い                                                           | ・フットケア勉強会                                  |                                            |
| 7月  | ・対話集会                                                                                                     | ・誕生者食事会<br>・会長杯卓球バレー大会                                                                           | ・熱中症予防勉強会                                  | ・土用丑の日献立<br>・七夕メニュー                        |
| 8月  | ・対話集会<br>・心みがきの講演会                                                                                        | ・誕生者食事会<br>・夏の食事会<br>・お盆特別映画鑑賞会<br>・青年会館杯卓球バレー<br>交流大会                                           | ・口腔ケア勉強会                                   | ・お盆献立                                      |
| 9月  | ・対話集会<br>・熊本地区オープン<br>ピーカーズミーティング                                                                         | ・誕生者食事会<br>・夏の旅行(キャンプ)<br>・西原村区役                                                                 | ・健康診断(第1回)                                 | ・お彼岸献立<br>・敬老の日献立<br>・お弁当(外部仕入れ)           |
| 10月 | ・対話集会                                                                                                     | ・誕生者食事会<br>・秋のスポーツ大会                                                                             | ・健康指導                                      | ・ハロウィンメニュー<br>・非常食メニュー<br>・栄養指導<br>・バーベQ大会 |
| 11月 | ・対話集会<br>・アディクションフォー<br>ラム                                                                                | ・誕生者食事会<br>・秋の一泊旅行<br>・秋の食事会<br>・紅葉見学<br>・星野富弘美術館見学<br>・西原村老人健康<br>づくりスポーツ大会<br>・火の国杯卓球バレー<br>大会 | ・インフルエンザ<br>予防接種<br>・感染症予防勉強会<br>(インフルエンザ) |                                            |
| 12月 | ・対話集会<br>・心みがきの講演会<br>・年納め式<br>・熊本アルコール関連<br>問題学会<br>・球磨・人吉地区合同<br>断酒<br>・益城病院忘年断酒会<br>・真和館忘年アルコール<br>学習会 | ・誕生者食事会<br>・なかよし祭り<br>・カラオケ大会<br>・大掃除<br>・餅つき<br>・年末・年始特別映画<br>鑑賞会                               | ・感染症予防勉強会<br>(ノロウイルス)                      | ・冬至献立<br>・クリスマスメニュー<br>・年越しそば              |
| 1月  |                                                                                                           | ・誕生者食事会<br>・初詣                                                                                   |                                            | ・おせち料理<br>・七草粥<br>・鏡開き献立                   |
| 2月  | ・対話集会                                                                                                     | ・誕生者食事会<br>・植木市見学                                                                                |                                            | ・節分献立<br>・バレンタイン<br>メニュー<br>・お弁当(外部仕入れ)    |
| 3月  | ・対話集会<br>・心みがきの講演会<br>・益城病院アメリスト<br>例会(年3回～4回)<br>・九州アルコール関連<br>問題学会                                      | ・誕生者食事会<br>・お花見会                                                                                 | ・健康診断(第2回)                                 | ・桃の節句献立<br>・お彼岸献立<br>・お花見お弁当               |

## 外部の学習会

START

ミーティング等

新型コロナウイルス感染症が感染症法の「5類感染症」に位置づけられ、1年が経過しました。

真和館でも、館外の行事・レクリエーション活動を昨年から再開しています。少し遅れる形になりましたが、学習会・ミーティングも地域の自助グループ等への参加を再開しました。

## AA (アルコールクス・アノニマス)

## ラウンドアップ in 鹿児島

令和6年5月31日～6月2日(2泊3日)、鹿児島県霧島市の霧島観光ホテルを貸し切って行われたラウンドアップに、入所者4名・職員4名で参加しました。AAの実行委員の方々の「皆に楽しんでもらおう」というお気持ちがひびひと伝わるプログラムで、九面太鼓やバンド演奏、ラッフルなど楽しませていただきました。また、森口病院の桑原PSWの話やメンバーさんの話、そして、夜は各種ミーティングに参加させていただき、皆さんのお話を聞かせて頂きました。ホテルの食事と温泉も素晴らしく、皆さん大満足！ついでに桜島見学と霧島神宮見学もしました。

楽しく、美味しく、充実した2泊3日、何よりも全国のAAメンバーの皆さんとお話しができ、仲間を大切にしている気持ちや情熱に触れることが出来たことが一番の収穫です。AAメンバーの皆様、誠にありがとうございました。

## ★入所者の感想★

温泉や料理が良かった。良い息抜きになった。ミーティング等は、いつも参加するミーティングと同じで普通に良かった。来年も参加したいです。(Kさん)

やっぱり、40年とか飲まない人がいて凄いなと思いました。やっぱり1年に1回会って嬉しいと思っている人が多かった。

ラッフル大会(数字合わせのゲームのようなもの。商品が当たる)が楽しかったです(目玉商品を含め、沢山当てられた)。温泉もご飯も良かったですし、気分転換になりました。来年の参加は考え中です。(Hさん)

歓迎会で、実行委員長が「準備に1年、苦労した甲斐があった。」と泣かれた姿に感激しました。ミーティングでの話も良かったし、温泉も料理も最高でした。最後の日に、参加者全員が料理が良かったと言っていました。私1キロ太って、Hさんは3キロ太ったと言っていました。また、参加したいと思います。(Sさん)

とても楽しかったです。女性アルコールミーティングには少ししか参加できませんでしたが、司会者の女性の話を聞いて、子育てをしながらお酒を止めるって大変だったのだらうと思いました。飲酒はそう簡単には止められないが、話を聞いて私も頑張れば止めて行けると思いました。来年も参加したいと思います。(Nさん)

## 球磨・人吉地域合同断酒会

R5. 12月10日に人吉市の人吉こころのホスピタル(旧:吉田病院)で、地元の断酒会員だけではなく、県内の断酒会員が集まりました。参加された入所者には人吉出身の方もいますので、休憩中に知り合いの方と挨拶されていました。

## あおば病院 オープンミーティング

今年から「酒のつまみにならない話inあおば」と名称を変更されました。5月18日に宇城市にあるあおば病院のデイケア室で行われ、職員・入所者合わせて十数名で参加しました。入所者の中からスピーチに指名された方もおられ、自身のお話をされていました。

## AA (アルコールクス・アノニマス)

熊本さくらグループにはR5. 11月から、健軍グループにはR6. 2月から、参加し始めています。また、R6. 4月に開催された健軍グループの「青空ミーティング」にも、数名の入所者が参加され、ご自身の体験を話されました。

## GA (ギャンブラーズ・アノニマス)

GA熊本グループは、R6. 1月から月1回第3火曜日に参加させていただいています。ギャンブル問題は、お金に直結する問題なので、参加者の体験談を聞くことで、お金の大切さを学ぶ場ともなっています。

## NA (ナルコティクス・アノニマス)

NA熊本グループには、R5. 7月から毎月第2・第4木曜日に参加させていただいています。当事者だけが参加できるミーティングなので、普段話せないようなことも、安心して話せるので、参加された入所者からは「NAは楽しい」という声が聞かれます。

## 熊本DARC (ダルク)

近頃、真和館入所者に薬物使用の後遺症に苦しむ方が増えてきました。そこで、薬物依存者の回復支援を専門とされている熊本DARCに、R6. 5月から月1回参加させていただいています。参加された入所者も「同じような経験をしている方の話は為になる」と嬉しそうに話されます。

## KUMARPP (クマープ)

熊本県精神保健福祉センターで、毎月第2・第4火曜日に開催されています。コロナが5類になった翌月のR5. 6月から参加を再開しております。現在は、地域生活に戻るための居宅生活訓練を受けられている2名の方が参加されています。

## 益城病院断酒会

コロナが5類になった翌月から、毎週火曜日に益城病院内で行われている断酒会に、数名で参加させていただいています。参加者が多く、参加される入所者は、他の方の話をじっくりと聞かれています。

## 菊陽病院院内女性ミーティング

コロナが5類になった翌月から、毎週木曜日に菊陽病院で行われている女性限定ミーティングに参加させていただいています。病院スタッフの進行で「1週間の振り返り」を中心にミーティングが行われています。